平松 裕将がヤマックス＜5285＞株式の大量保有報告書を提出

JASDAQのヤマックス＜5285＞について、平松 裕将が5月12日付で財務局に大量保有報告書（5%ルール報告書）を新規提出した。

提出理由は「当該企業は、HOCヤマックス社の子会社化、ナルックス社との業務委託契約締結、ヤマウ社との業務提携締結など、様々な施策を発表した。コンクリート製品製造販売業界は市場環境が厳しさを増す中、茂森社長は、経営基盤整備、経営の合理化、コスト削減、財務体質強化の経営姿勢を貫く。私は、その方針を高く評価し、全面支持している。今後も更なる優れた経営行動を推し進めて頂く為には、安定株主による経営の賛同が不可欠であると考え、株式を大量に保有した。其の上、株主及び株式市場対応として、配当性向30%以上の株式配当を行う事を求め、大幅な株式分割を行い市場流動性向上を目指す事を求め、株価が一株当たり純資産額以下の場合は株式市場で自社株買いを行う事を求め、株主優待制度を新設し株式市場での認知度向上を目指す事を求める為にも株式を大量に保有した。その他、ステークホルダー共通の利益に適う事が有れば、茂森社長に適宜提言する為に株式を大量に保有した。」によるもの。

報告書によると、平松 裕将のヤマックス株式保有比率は、5.02%と新たに5%を超えたことが判明した。

報告義務発生日は、2020年5月1日。